

平成27年度 安全管理推進大会が各地区で開催

第88回全国安全週間に前に、(一社) 沖縄県労働基準協会をはじめ、関係労災防止団体の共催、各労働基準監督署の後援により安全管理推進大会が開催された。

7月1日から7日まで全国展開される全国安全週間に向けて、「危険見つけてみんなで改善意識高めて安全職場」をスローガンに自主的な労働災害防止活動の推進、広く一般の安全意識の高揚を図るべく、各地区の大会に多くの事業場が参加した。

那覇地区

6月4日(木)浦添市でだこホール(小ホール)にて参加者177名のもと、那覇地区の平成27年度安全管理推進大会が開催された。

黙とう後、沖縄県労働基準協会興儀盛輝那覇支部長のあいさつにより開会された。

全国安全週間に向けて那覇労働基準監督署の比嘉豊安全衛生課長より取り組み方について説明がされた。また、平成26年の那覇署管内における休業4日以上死傷災害の発生が、平成最多となったことから、平成27年度那覇署で災害防止対策の取り組みを積極的に行うなど話した。

安全講話では星野護那覇労働基準監督署長が「監督官のひとり言～事例から災害防止を考える～」と題し、体験事例よりなぜ災害が起きるのかを話した。“人は効率化のために不安全行動を起こすもの”、災害はふと魔が差したときに起こると話し、安全担当者に作業員との双方向での安全管理をするよう呼びかけた。

建設業労働災害防止協会沖縄県支部那覇分会の呉屋忠男安全指導員を中心に全員でスローガンに向かって指差唱和を行い、沖縄産業保健総合支援センターの大村朝常副所長より大会宣言が読み上げられ、労働災害防止の重要性についてさらに認識を深め、安全活動を着実に実行し、労使一体となって職場の「災害ゼロ」を目指すことを誓った。



開会あいさつをする興儀支部長



安全講話をする星野署長



安全週間取組説明をする比嘉課長



大会宣言を読み上げる大村副所長



中部地区

中部支部は6月12日(金)、建設業労働災害防止協会沖縄県支部中部分会と沖縄産業保健総合支援センターと共催で中部地区安全管理推進大会を沖縄市産業交流センターで開催した。

参加者全員で黙とうを捧げた後、金城稔中部支部長の主催者代表挨拶により開会した。長濱直次沖縄労働基準監督署長より来賓あいさつがあった後、安全週間趣旨説明が徳永景太安全衛生課長より、被災事例などを交え安全週間に向けての取り組みを重点になされた。

また、事例発表として株式会社ジェイベック石川カンパニーは、「安全活動とコミュニケーション」と題し、自社での安全の取り組みを発表した。

特別講演では、「健康経営を意識した腰痛予防対策」として山内義崇腰痛予防アドバイザーによるストレッチベルト「ラクナヘル」の実演を行い、参加者は実際ベルトを装着しストレッチ体験をした。

最後に、安全の誓いが株式会社仲本工業の富名腰朝成安全課長に読み上げられた後、株式会社沖縄計測リサイクル事業部の小波津ひろみ総務部長を代表に、参加者全員でスローガンを指差唱和し、災害のない安心・安全な職場づくりに向けて邁進していくことを誓った。



主催者代表挨拶をする金城支部長



来賓あいさつをする長濱署長



安全週間趣旨説明をする徳永課長



事例発表をする横努専任安全管理者と安全グループ瑞慶覧昌善氏



安全の誓いを読み上げる富名腰課長

